

日本方言研究会

第104回研究発表会

日時：2017年5月12日(金)
場所：関西大学 100周年記念会館

〒564-8680 大阪府吹田市山手町 3-3-35

<http://www.kansai-u.ac.jp/global/guide/access.html>

阪急電鉄「北千里」行乗車で「関大前」駅下車※。徒歩5分。
※駅「南口」直結の「南門」通路をご使用ください。

午前の部 9:40 ~ 12:20

9:40- 9:50 開会の辞

9:50-10:00 ブース発表趣旨説明

【ブース発表】方言に関する教育活動

	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場
10:10-11:10	高等学校生徒による方言教材作成—〈篠山弁〉を事例として— 藤本真理子 西本智子	琉球諸語の音声教材作成と展望 當山奈那	大学での方言教育において授業者及び受講者の制作した方言教材—授業名「群馬の言葉とこども」— 佐藤高司	東日本大震災被災地における方言教育の取り組み 小林初夫 半沢 康	しまくとぅば教材の作成と実践 中本 謙 山口栄臣 仲原 穰 西岡 敏	「おらほ弁で語っぺし」プロジェクトの報告 大野眞男 小島聡子 竹田晃子
11:20-12:20	高校生による奄美大島方言調査実践—鹿児島県立大島北高等学校「聞き書きサークル」活動の一環として— 重野裕美 白田理人	言語復興の港：コミュニティ参加型の地域言語学習コンテンツ制作・利用プロジェクト 山田真寛 下地賀代子 中川奈津子 山本 史 横山(徳永)晶子 浅川友里江	一般市民を対象としたマスメディアや生涯教育を通じた方言教育—石川県・福井県における実践事例から— 加藤和夫	25年間に及ぶ高等学校での方言教育の軌跡 札埜和男	地域方言を題材とした高大連携による教育活動の実践—徳島県立池田高校探究科と徳島大学総合科学部の取組から— 村上敬一 田島幹大 吉平綾加	

【研究発表】

13:20-13:30 会場校ご挨拶

13:30-14:20 福井市沿岸部のN型アクセント

14:20-15:10 八重山諸方言における語中の**g*と**k*の音韻変化とその条件

15:10-16:00 南琉球宮古語池間西原方言のいわゆる受身/可能の接辞と非他動詞化について

16:10-17:00 「日常生活語辞典」の編纂と、その記述の方法—兵庫県明石方言を例にして—

17:00-17:50 輪島市海士町の言語とルーツ

17:50-18:00 閉会の辞

午後の部 13:20 ~ 18:00

松倉昂平

崎山拓真

林 由華

橘 幸男

新田哲夫

18:10-20:00 懇親会：100周年記念会館 レストラン紫紺（会費：一般5,000円，学生3,000円）

【お問い合わせ先】日本方言研究会事務局 E-mail: hougen-jim@e-mail.jp <http://dialectology-jp.org>